

# 漁況予報 いわし

## 第148号

2008年7～8月漁期  
(2008年7月9日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、5月が12トン、6月が26トン（速報値）で、前年同期（5月：166トン、6月：29トン）を下回りました。前年は5月に珍しくまとまった漁がありました。今年度は低調に推移しています。

魚体は、体長15～16cm前後の中羽マイワシ（2007年級・1歳魚）が主体で、大羽マイワシの漁獲はほとんどありませんでした。また、6月に入ると体長9cm前後のヒラゴ（2008年級・0歳魚）が多く混じるようになりました。

佐島地区のまき網は、5月、6月に餌イワシ（カタクチイワシ）とともにヒラゴを漁獲しましたが、鮮魚となる中羽サイズ以上の漁獲はほとんどありませんでした。

定置網やまき網におけるヒラゴの漁獲量は前年を上回っていることから、このヒラゴが成長し秋以降に小羽・中羽マイワシとして漁獲されることが期待されます。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、5月が878トン、6月が747トン（速報値）で、前年同期（5月：833トン、6月：934トン）と同程度でした。前年と同様に漁獲量の急増する時期が遅れていましたが、5月に入りようやくまとまった漁模様となりました。

佐島地区のまき網は、餌イワシとして漁獲するとともに鮮魚としても出荷しました。

魚体は、体長12cmを超える大型成魚が主体でした。

#### 【しらす】

解禁から4月までの2ヶ月間は相模湾全域で好漁となり、平年（過去5年平均）同期の約3倍の漁獲量で推移しました。しかし、5月に入ると漁獲量は急激に減少し、特に相模湾東部地区で低調でした。その後6月には漁獲量は若干増加したものの平年並みの水準にとどまっています。

### ＝ 予報 ＝

#### まいわし

今漁期は、今年生まれの小・中羽マイワシ主体にヒラゴが若干混じるでしょう。

3～6月のシラス漁におけるマシラス（マイワシの仔魚）の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、定置網を主体に約2000トンと予測されます。

\* 縦軸：主要定置網＋まき網

#### かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体となるでしょう。

5月～6月の県内主要定置網における漁獲量から、今漁期の漁獲量は約1300トンと予測されます。

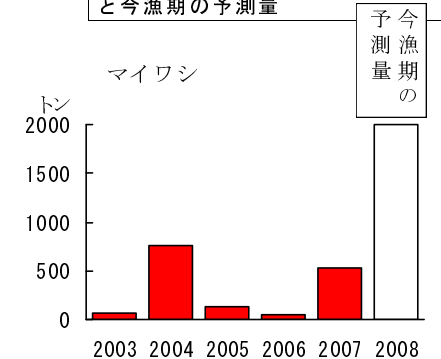
\* 縦軸：主要定置網＋まき網

#### しらす

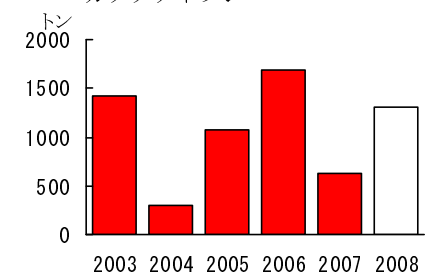
今漁期は、5～6月に相模湾で生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となります。

当センターが実施した5、6月のカタクチイワシの卵分布調査結果から、今漁期の漁獲量は、約180トンと予測されます。

過去5年の7・8月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



カタクチイワシ



シラス

